

平成 16 年度に向けた科学技術の戦略的重点化の論点について

「『平成 16 年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針』の作成に向けて」（平成 15 年 2 月 26 日：総合科学技術会議資料）や「平成 16 年度の科学技術分野の重点事項について」（平成 15 年 3 月 28 日：総合科学技術会議資料）等を踏まえると、平成 16 年度に向けた戦略的重点化の論点として、主に以下の事項が挙げられる。ただし、今後の検討に従って、これら以外の事項についても考慮する必要がある。

1 平成 16 年度に向けた科学技術の戦略的重点化の基本的な考え方

- (1) 世界最高水準の科学技術創造立国を目指し、第 2 期科学技術基本計画を着実に推進する。
- (2) 中長期的な観点からの投資と即効性のある経済活性化施策を両立させつつ、科学技術関係施策を推進する。
- (3) 主に、以下の 3 つの方向性に沿った重点化を図る。
 - 研究基盤の強化による国力の充実
 - 国際競争力の確保・強化による経済の活性化
 - 少子高齢化などの諸課題に対応する安心・安全な社会の構築

2 具体的な論点（例）

(1) 基礎研究の推進について

大学、企業、独立行政法人等における基礎研究の推進方策について

（技術革新につながる基礎研究、戦略的に重要な新興分野・融合分野の基礎研究の範囲と推進の考え方等）

ビッグサイエンスとスモールサイエンスとの適切なバランスについて

(2) 経済の発展に繋がる研究開発の推進について

国際競争力の確保・強化に向けた、産学官連携による研究開発プロジェクトの強化・拡充方策について
研究成果を実用化・産業化に結び付ける取組の強化方策について
(プロトタイプトライアル(実証実験)の推進方策等)

(3) 安心・安全で快適な社会の構築に資する研究開発の推進について

高齢化社会における安心・安全で快適な生活実現に向けた研究開発の推進方策について
(医療のリスク低減、災害・事故対策、ヒューマンインターフェース技術の研究開発等)
食料やエネルギーの安定供給、環境と調和した産業活動・経済活動の実現、安定した国際関係の維持に向けた科学技術の振興方策について

(4) 科学技術関係人材の育成・確保について

基礎研究を推進する人材の育成・確保の方策について
(優秀な若手研究者・技術者の支援方策等)
知的財産や技術経営(MOT: Management of Technology)等の専門家人材の育成・確保の方策について
セキュリティに関する研究者・技術者の育成・確保の方策について

(5) その他

競争的研究資金制度のあり方、知的財産権の活用方策、ベンチャー企業の創出・育成方策等については、科学技術システム改革専門調査会等において調査・検討